

番組研究委員会 実践レポート 中一道德

1 提案者 小林 翔（箕輪中学校）

2 提案内容

O中道 1

(1) 単元名「C 主として集団や社会との関わりに関すること (13) 勤労」

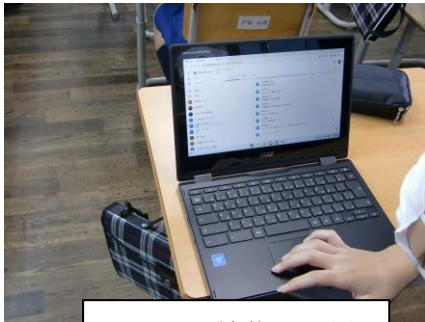
(2) 利用した番組名「SEED なやみのタネ 都築さんのなやみ ～実家の仕事か、自分の夢か～」

(3) 授業のねらい

働くことについて考える生徒が、「なやみのタネ」を視聴し都築さんのなやみについて語り合う中で、葛藤しながら働くことについて考える都築さんの思いに迫ることを通して、自らの働く意義についての考えをまとめることができる。

(4) 授業の実践記録

段階	学習活動	生徒のようす	◇教師の指導・援助・評価	時間	備考
導入／	1 何のために働くかを考える。	ア 自分自身の幸せのためや家族のために働くことが、働く理由ではないかな。	◇フォームに入力させテキストマイニングで共有する。	5分	クロームブック
	2 動画を視聴する。	イ 都築さんの悩みは理解できるけれど、自分なら実家の仕事を継ぐようにするかな。	◇結果を見ながら交流する	10分	クロームブック
展開	3 それぞれの仕事の魅力を整理し、都築さんの悩みを考える。	ウ 都築さんのなやみの理由は何なのだろう。 エ ボランティア活動の魅力は人のためになり、喜ばれることかな。 オ 牛乳配達の仕事は喜んでくれる人がいることや従業員の方の生活を守るためでもあるかな。	◇動画を視聴しながら、仕事の魅力について思ったことをコメントに入力させる。 ◇スクリーンであらすじを整理し、生徒の入力したコメントを活用しながら、共有する。 ◇補助教材で都築さんの悩みを補足する。 ・ボランティア活動とは何か ・都築さんの実家の収入	10分	スクリーン
展開	発問①都築さんが納得した選択をするために、あなたなら何と声をかけますか。				
	4 都築さんの思いに触れながら、かける言葉を考える。 ①個人 ②グループ ③全体	カ 自分は夢であるボランティアの仕事を選択する立場だけど、自分が幸せになるために仕事はあと思うと声をかけるな。 キ 本当はボランティアの仕事をしたいと考えていると思うけれど、両親や牛乳を待っている方の思いを考えると、どちらの仕事にもやりがいを感じているのではないかな。 ク 自分が納得した上で選択してほしいと思う。でも、納得するためには理由が必要だから、それを大切にしてほしいと私なら声をかけるかな。 ケ 立場は同じだけど、かける言葉が違うのは、何のために働くかの考え方が違うからかな。	◇ジャムボードを用い、自分がかける言葉を付箋に入力させ、自分の立場を明確にして数直線上に示させる。 ◇グループ活動を位置付け、自分の考えを伝える。 ◇個人やグループ、全体に補助発問を投げかけて、様々な視点から「都築さん」の思いに寄り添うことができるようにする。 ・自分で決める根拠は何か。 ・都築さんが選択するために考えなければならないことは何か。 ◇グループ活動の様子から指名計画を立て、生徒の考えを板書で整理していく。	15分	クロームブック
／終末	発問②働くことの意義とは何だと思いますか。				
	5 これまでの学習を想起し、資料から考えたことをまとめて、思いを語る。	コ 自分の夢を大切にしていきたいけれど、途中で諦めそうになることもある。夢の先に何があるかを考えることが大切だ。 サ 実際にその場になってみると都築さんのように迷うことがあるかもしれない。そんな時には、損得ではなくて、最後は自分が出した答えを信じられるか、自分で納得できるかを基準に考えることが大切だと思う。	◇これまでの学びを想起しながら自分の感想をコメントで入力させる。 ◇机間指導で考え方が短絡的な場合は深まるような声掛けをする。 これまでの学習を踏まえて、自らの考える働くことの意義について考えがまとめられている。(クロームブック)	10分	クロームブック



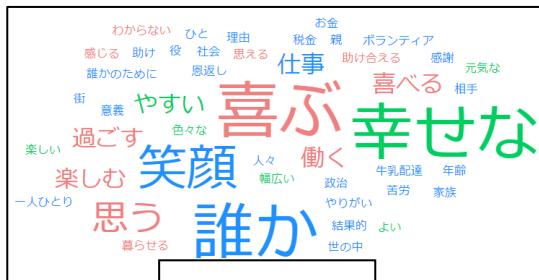
コメント機能の活用



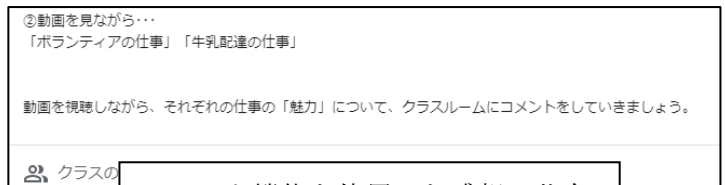
番組視聴の様子



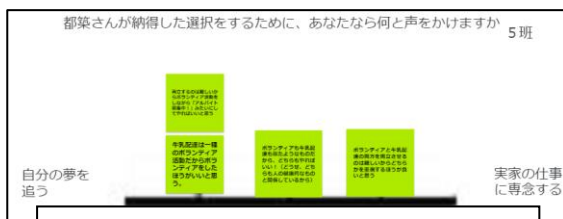
番組視聴の様子



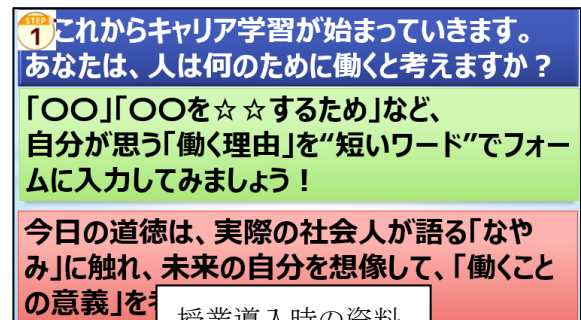
テーマの共有



コメント機能を使用した感想の共有



ジャムボードを使用した考えの共有



授業導入時の資料

(5) 考察

・実際の社会人がもつ働く悩みに番組資料を通して触れることで、より「その立場」で考えられると感じた。また、映像の長さにもよるが、視聴しながら感想を書くことなどができると、発問につなげやすくなると感じた。

・生徒にとって番組資料は現実的なこととして触れることができるため、より中心発問が重要であると感じた。本時であれば、「納得した選択をするために、あなたなら何と声をかけますか」とすることで、主人公の立場になって考えることができ、「働く意義」に迫れると考えた。しかし、番組視聴後の生徒の反応から考えると、主人公や周りの人など「様々な人から見た仕事」を整理し、その上でそれぞれの仕事の「共通点」を考えていくことで、内容項目に迫ることができると感じた。

(6) 番組への要望

・番組を活用した授業案や板書資料の実践例を数多く見られると、それを参考にしながらの実践が増えていくと考えられる。

・番組を活用した授業実践の動画が見られると、授業者が授業のイメージをもちやすくなると考えられる。